

PBLとは何か？

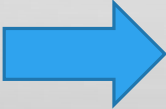


山口大学国際総合科学部

福屋利信

PBLとは？



- **PROJECT BASED LEARNING**の略。「プロジェクト型課題解決学習」と訳されることが多い
- 学習者自身が、少人数グループで、具体的なテーマに即したプロジェクトを、企画、実践する過程で、**主体的にさまざまな視点・知識・方法を身につける学習形態**
- 従来のインプット型の教育ではなく、**アウトプット型の教育**。これによって座学では得られない、社会で広く求められる実践的な能力を習得できる
- 従来の卒業研究（研究者主体）  PBL（学生主体）

日本の教育においてPBLが求められる背景



OECD加盟国の学習到達度調査（PISA2015）

日本の学習到達度（15歳児対象）

科学的リテラシー（35カ国中第1位）

数学的リテラシー（35カ国中第1位）

読解的リテラシー（35カ国中第6位）

インプット

OECD加盟国の労働生産性調査（日本生産性本部2017）

日本の労働生産性

就業者1人あたり（35カ国中第21位）

時間あたり（35カ国中第20位）

アウトプット

教育界と経済界との接続が 上手くいっていない可能性

教育界（インプット教育重視）

小中高の教育ではインプット中心であってもおかしくない

経済界（アウトプット重視）

大学教育の現状（インプット教育重視）

大学では、アウトプット教育に力を入れていく必要性が
ありはしないか



PBLの重要性



国際総合科学部のPBL（2パターン）



1) 自己発見型課題解決コース（オリジナルコース） 3プロジェクト

- ・学生が企業・地方自治体・NPO法人などの課題を発見し、直接交渉し、話をまとめ、解決を図っていく
- ・**学生たち**が20万円の年間活動資金獲得に加え、主担当教官・プロジェクトメンバー（4～6名）の決定も交渉

2) 設定課題解決コース（プログラムコース） 17プロジェクト

- ・企業・地方自治体、NPO法人から出された課題の解決を図っていく
- ・**学部**が20万円の年間活動資金獲得に加え、主担当教官・プロジェクトメンバー（4～6名）のマッチングも実施）

平成31年度マッチング状況（１）



山口大学国際総合科学部（20プロジェクト）

オリジナルコース：

瀬戸内ジャムズガーデン、山口大学生協、フードバンク山口（NPO）

プログラムコース：

JTB山口支店、レノファ山口、秋川牧園、ANA山口支店、NEXTONE、三和、トヨタカローラ山口、KRY山口放送、大嶺酒造、QQ ENGLISH（CEBU英語学校）、アクト西京、トクヤマ、防府観光コンベンション協会、美祢市、山口市、岩国市、周防大島町

平成31年度マッチング状況（2）



梅光学院大学（16プロジェクト）

サードプラネット、山田石油、周南市立徳山駅前図書館（CCC）、下関商業開発（シーモール）、東武住販、山口産業、ANA山口支店、OZAWA、ナック（昭和病院）、国際貿易（×2）、釜山外国語大学、台湾・開南大学、NHK山口支局、近畿日本ツーリスト、CAI（ベトナム日本語学校）

山口県立大学（6プロジェクト）

あさひ製菓、アデリー、サマンサジャパン、豆子郎、コープ山口、コア

徳山大学（3プロジェクト）

街あい徳山、国際貿易、徳山商工会議所

平成31年1月4日

コンセプトは、「大学教授よ、研究室を出て、街へ繰り出せ！」

これをタイトルとして平成32年春にPBL関連本を出版予定



PBLのラジオ番組決定！



Across the Borders!
グローバル世界にCatch Up!
第一水曜日
午後1時10分～1時30分

梅光学院大学
徳山大学
山口県立大学
山口大学国際総合科学部

のPBL活動を紹介します！



SUO – OSHIMA ALOHA PROJECT



主担当：福屋利信教授

副担当：永井涼子准教授

阿部祥子 井上瑞香 久富由美

平田拓磨 松尾拓哉 山田直登

課題：周防大島のハワイ移民史を風化させない工夫づくり

周防大島にはハワイをイメージした
イベントや施設、商品が多い！



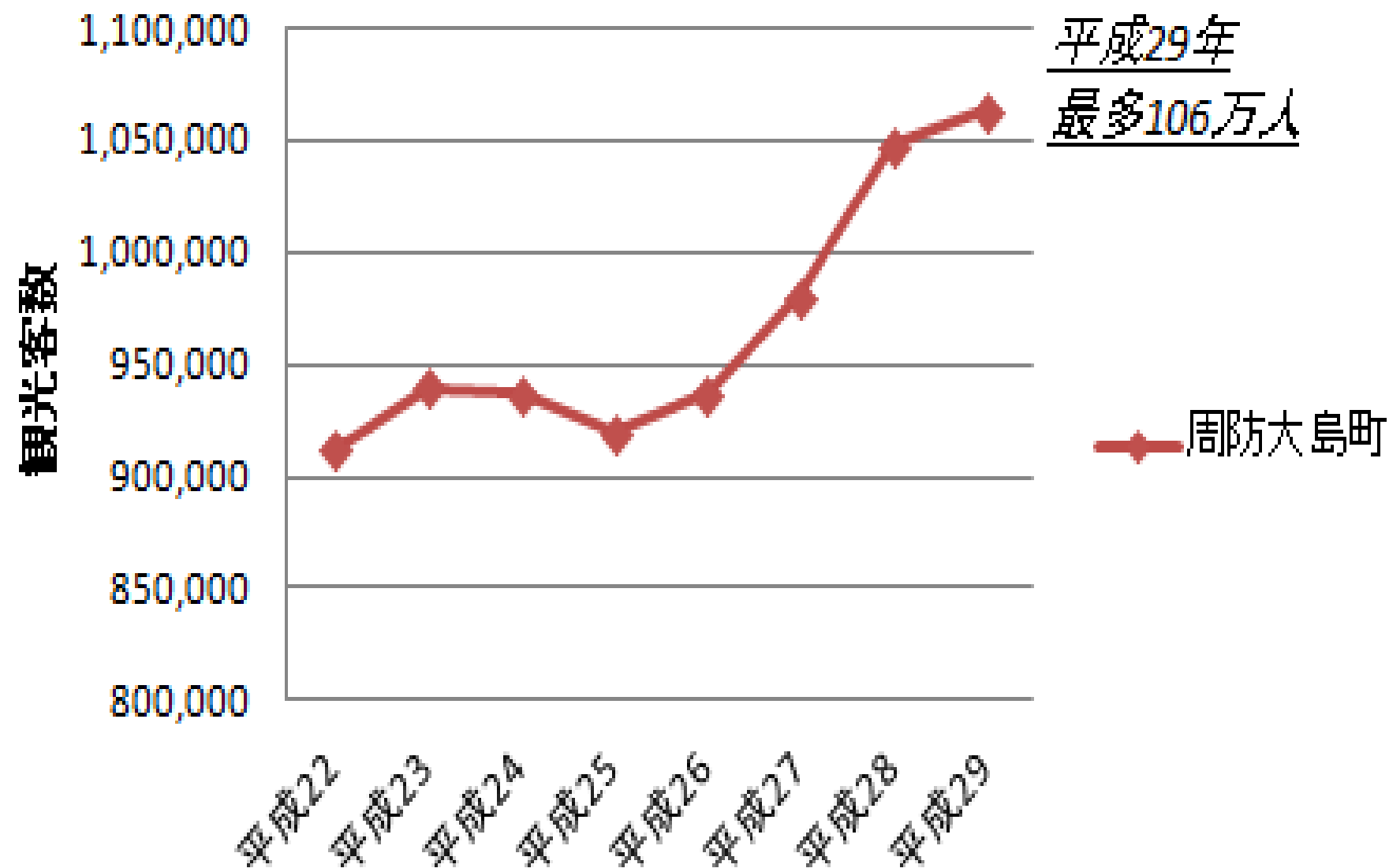
なぜ

ハワイへの移民の歴史

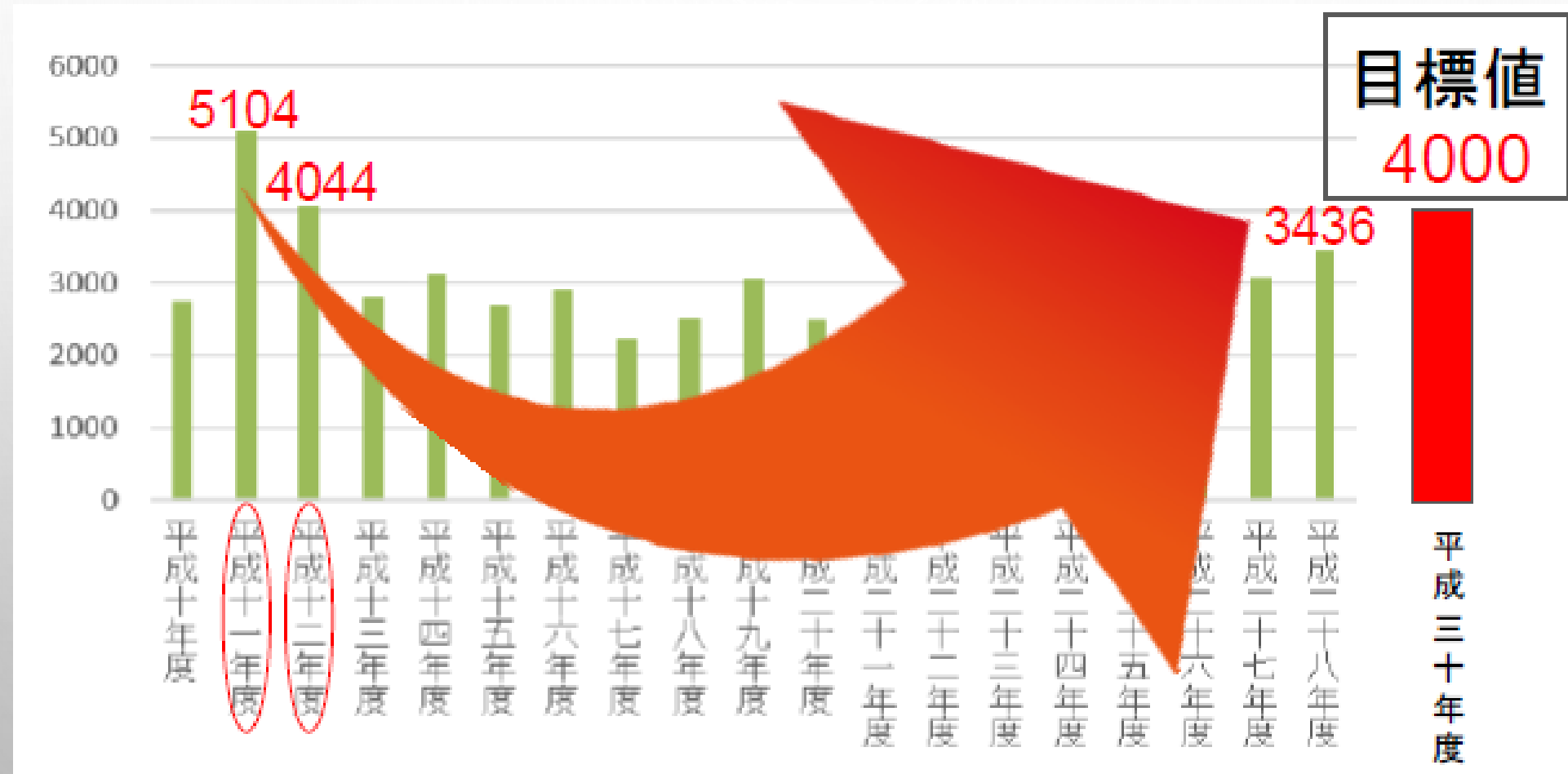


課題の数知的分析

周防大島町観光客数推移

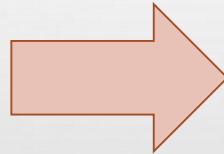


日本ハワイ移民資料館の入館者数の推移



ハワイ移民史のデザイン機会

- ・周防大島観光の歴史的ストーリー性を強化
（質的効果）
- ・移民資料館の入館者数の増加（量的効果）



歴史を今に
つなげる作業

まずはハワイ移民史を学ぶ ことから始めよう！

西田純子さんによる講義を受講
H29年度Q4で3回、H30 年度
Q1&2で15回の講義

ハワイ研修コーディネイター(9月)

- ・日系移民の意識調査
- ・ハワイに残る盆おどり文化の調査
- ・大学での講義
- ・在ホノルル日本領事館訪問
- ・カウアイ日本文化協会との交流
- ・ハワイ山口県人会との交流



ハワイのことは
私に任せて ^^

西田純子さん：（日本ハワイ移民資料館）
ハワイ大学修士課程修了

ハワイ研修



KCC(Kapiolani Community College)
Warren Nishimoto先生の講義



トークストーリーセッション
KCC(Kauai Community College)

ハワイ研修②

カウアイBon Dance Festival)
に参加
山口県人会の家庭にホームス
テイ



地元紙に紹介記事が掲載される

プロトタイプイベント1 (ハワイ移民資料館 + 若い力)

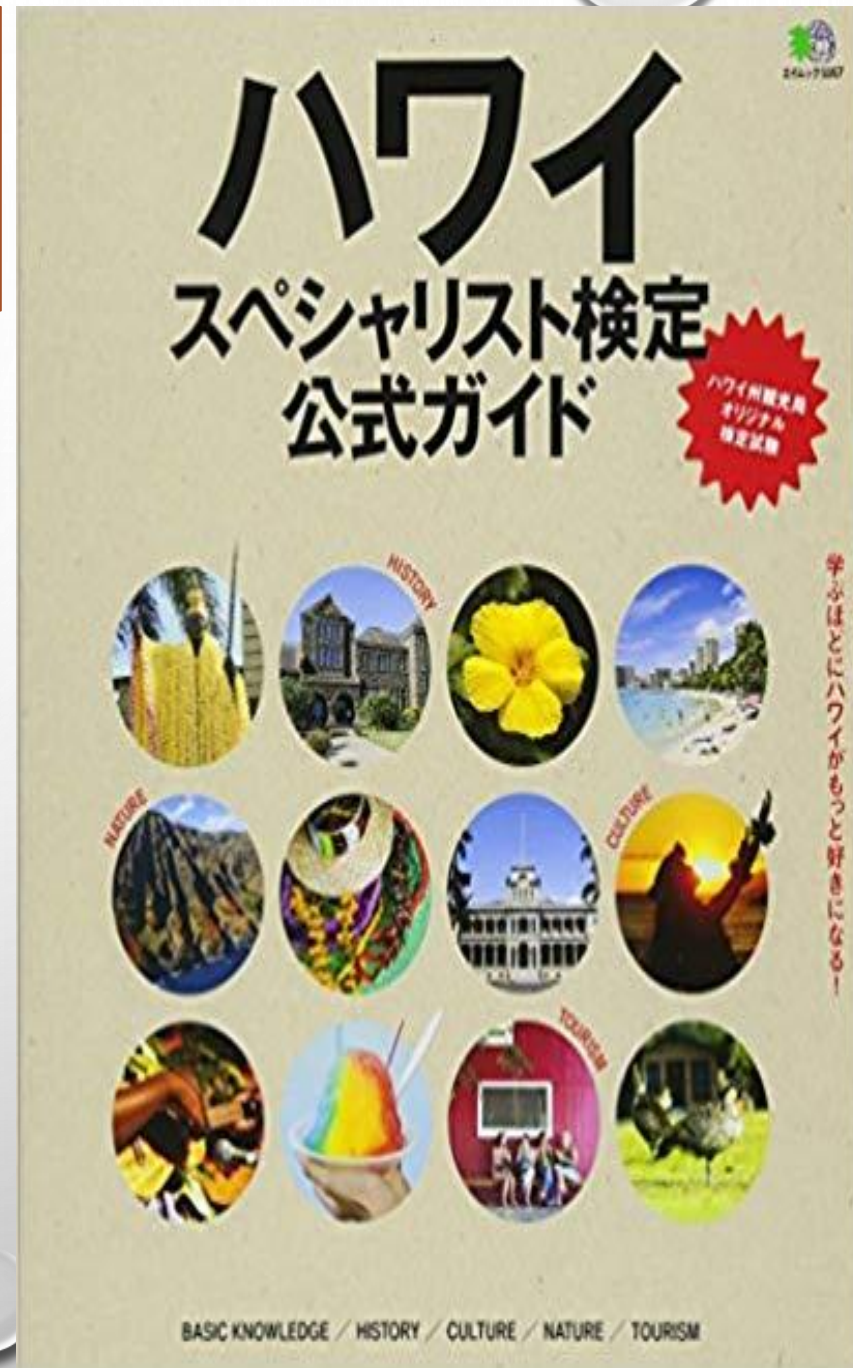


「海外移民と歴史と現代」(大島文化センター)にAloha Project によるパネル展示コーナーを提供
参加者人数: 115名

全員ハワイ検定に 合格！！！！



ハワイ移民資料館の英語ガイドができるために
ハワイ移民資料館長の話を館内で聞く



プロトタイプイベント2(ハワイとの交流)

ハワイの高校生のルーツ探しのツアーに移民
資料館のガイド役として協力

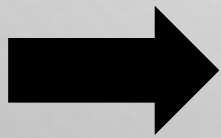


学んだことを課題解決につなげるには？

②学校教育で使うことのできる ハワイ移民史に関する教育本の作成

- ・地域学習では民俗学者宮本常一についての副読本を使用
- ・「瀬戸内のハワイ」として町おこしをしているのにあまり学習されていない
- ・「きょうど大島」内でも1ページしか取り上げていない

ハワイ移民史の風化

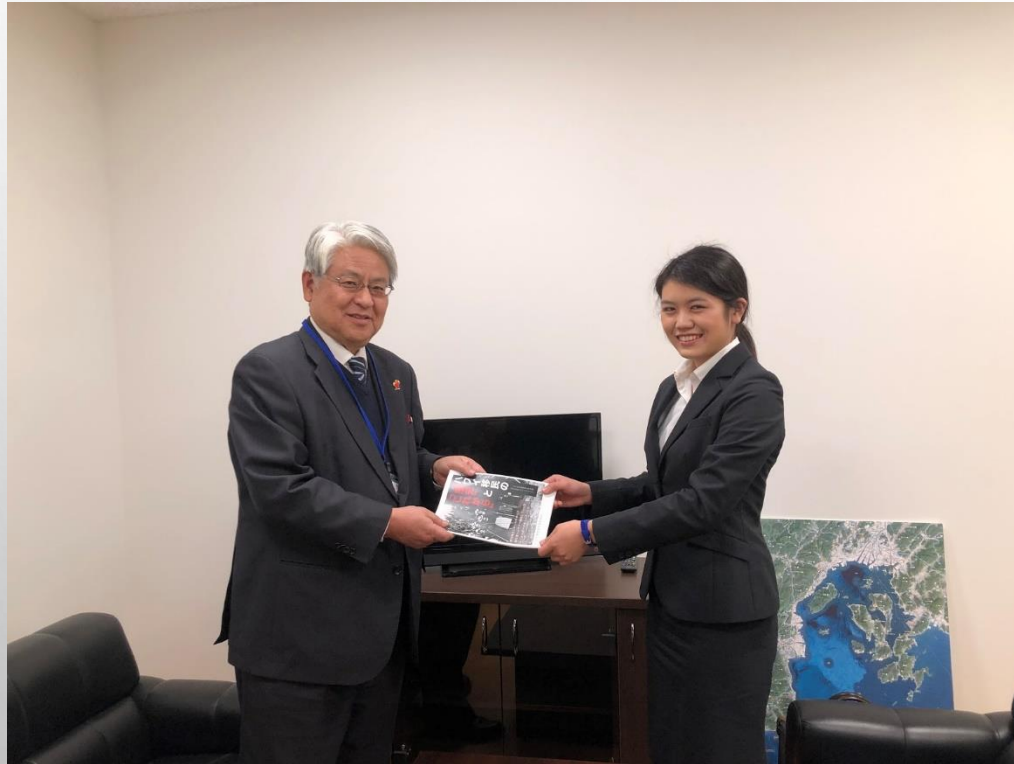


ハワイ移民に関する教材が
ないならば自分たちで作ってしまおう！

歴史副教材作成から見込まれる効果

- ①ハワイ移民史の保存と継承
- ②アイデンティティの確立
- ③郷土愛
- ④ハワイとの交流の活性化

中学校教育の郷土史 副教材として採用決定 最終成果物



周防大島教育委員長
西川敏之氏に完成品を渡す



ハワイ移民史学習副教材

山口学シンポジウムで 成果を発表

開催日12月22日

開催場所:山口大学

講演者

・堀雅昭氏

『ハワイに渡った海賊たち：周防大島の
移民史』（弦書房、2007）

・後藤明氏

南山大学教授人文学部教授

プロジェクトの活動報告

・プロジェクト参加学生

地元ケーブルテレビで
放送される(波及効果)



山口学シンポジウム
「移民の歴史」では語れない「移民者の軌跡」

山口学研究プロジェクト【明治150年から見える山口県の未来】シンポジウム
「移民の歴史」では語れない「移民者の軌跡」

ハワイ移民史150年と 今後の150年

開催日および会場が
変更になりました

2018年
12/22
13:00-16:00 (土)

参加無料
対象：一般、学生

【場所】
山口大学 事前参加申込み不要
吉田キャンパス メディア講義室
〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1

主催：山口大学
共催：一般社団法人国立大学協会、
周防大島市、日本ハワイ移民資料館
後援：山口県、NPO法人周防大島郷土大学、
お問合せ：山口大学国際総合科学部 杉井 学
☎ 083-933-5298 ■ report@yamaguchi-u.ac.jp

報告 山口大学国際総合科学部の学生によるPBLハワイ研修報告
※PBL(Project Based Learning)は、国際総合科学部が進める、4年次の教育プログラムです。

第一部 マクロな視点とミクロな視点でハワイ移民の歴史を紐解く

【招待講演1】 堀 雅昭氏（作家）
世界と向きあった近代 - 周防大島とハワイ -

【招待講演2】 後藤 明氏（南山大学人文学部人文学科教授）
椰子の木陰のお地蔵様：ハワイ・ポリネシアの歴史景観の中での日系文化

第二部 歴史を未来につなぐパネルディスカッション

【パネリスト】 堀 雅昭（講演者・作家） 後藤 明（講演者・南山大学人文学部人文学科教授）
新山玄雄（治済寺住職） 西田 純子（日本ハワイ移民資料館 カルチュラルアドバイザー）
福屋 利信（山口大学国際総合科学部 特命教授） 杉井 学（山口大学国際総合科学部 准教授）

PBLにおける教員の役割

クリエイターからコーディネイターへ